

【資料1】



サラリーマンからの転身 ～有機農業者として独立 に必要な5つの要素～

(株) レインボーフューチャー 代表取締役 大和田忠
令和3年度県北地域有機農業拠点ほ場技術検討会 (2022.3.16)

経営概要

筑西市内農場（本社）

- 設立 2000年（H12）7月
- 農地面積 30ha
- 栽培品目 年間50品目以上
- 加工品 にんじんジュース

常陸大宮市内農場

- 栽培開始 2019年（R1）
- 農地面積 5.5ha
- 栽培品目 ベビーリーフ, にんじん,
ほうれんそう

- スタッフ 48名（社員14名、研修生24名、パート10名）
- 出荷先 スーパー、飲食店、生協、有機野菜の販売会社など 60社
- 生産者グループ 茨城県内、北海道、長野、鹿児島、沖縄など
- 有機JAS認証（転換中を含む）を取得

常陸大宮市のほ場（R3.10月現在）



にんじん



ベビーリーフ

常陸大宮市のほ場（R4.3月現在）



ベビーリーフ

筑西本社



出荷・調整



商品の一例



商品の一例



商品の一例



にんじんジュース

- IDENTIFIED - CARROT JUICE

寒締めフルーツ にんじん使用 大地の恵み

霜がおりる厳冬期、寒さに耐えた“寒締めフルーツにんじん”は甘味と旨味がしっかりとって、それはまるでフルーツのようです。三年間、肥料を一切与えていない無施肥圃場で栽培しているのでぐく味の元と言われている窒素分もきっちりと切れています。にんじんのすりおろした果肉部分も残して飲みこたえのあるネクタータ입に仕上げています。ほんの少しだけ(約1.5%)加えるレモン果汁も広島県の中原親光農園産の有機レモンとこだわっています。豊かな大地の豊かな恵み、レインボーフューチャー渾身のにんじんジュースです。内容量:200ml

- にんじん 茨城県レインボーフューチャー産にんじん(有機栽培)
- レモン 広島県中原親光農園産レモン(有機栽培)



茨城県筑西市舟生
レインボーフューチャー
RAINBOW FUTURE

筑波山の西の大地、茨城県筑西市のレインボーフューチャーは有機栽培の野菜生産者、無農薬・無化学肥料で年間50品目以上の野菜を栽培しています。代表の大和田忠氏は、2000年にサラリーマンから転身したいわば有機の新規就農者のフロントランナー的存在。現在は、たくさんの種類のベビーリーフや葉物野菜、果菜類、根菜類、生食用のとうもろこしなどを栽培しています。そして、なかでも根強いファンがいるにんじんは、生食でもおいしいと評判です。レインボーフューチャー産のにんじんをご自宅でジュースで搾ってフレッシュジュースにして飲まれる方もたくさんいます。

有機農業者として独立に必要な5つの要素

①技術

有機農産物を生産するうえでの土づくりと防虫対策をどうするか？



ベビーリーフ防虫ネット



夏場のリーフレタス



トウモロコシ

有機農業者として独立に必要な5つの要素

①技術

- ・ 雑草防除対策
太陽熱土壌消毒を行い雑草抑制

- ・ 牛ふん堆肥の臭気低減対策
散布後、速やかに耕起を実施し臭気を抑制



有機農業者として独立に必要な5つの要素

②畑

色々な野菜を作るのに最低でも1haの畑が必要



常陸大宮農場ホウレンソウ



常陸大宮農場ニンジン



筑西農場スティックセニョール

有機農業者として独立に必要な5つの要素

③資金

運転資金や機械化のための資金が必要

④機械

畑の場合トラクター、マルチャー、収穫機、冷蔵庫、作業場など



ニンジン収穫機



野菜包装機



ベビーリーフ収穫機

有機農業者として独立に必要な5つの要素

⑤流通

天候に左右されない安定した価格が必要



展示会の商談



コストコ出荷ニンジン①



コストコ出荷ニンジン②

有機農業者として独立に必要な5つの要素

プラスα 絶対に農業で生活するんだという気持ちと情熱が必要



大雪でのハウスの倒壊①



大雪でのハウスの倒壊②

有機農業者として独立に必要な5つの要素

プラスα 絶対に農業で生活するんだという気持ちと情熱が必要



大雪－露地野菜



大雨による畑の冠水

ご清聴ありがとうございました。

